

「和歌山病院実習を終えて」



鳥居 孝英

今回、和歌山病院で実習をいただくことになり、二日間で結核を中心としてレントゲンの読影方法や酸素療法の実際など様々なことを学ばせていただきました。

今まで私は胸部レントゲンの読影についてはあやふやな知識で教科書と少しでも違うようなものが映るとすぐ慌ててしまっていたのですが、南方先生の暗記するのではなく、論理立てて考えなさいという教えのおかげで大分コツをつかんで読むことが出来るようになりました。

また気管支体操では、肺の区域の位置をただ頭で暗記するだけだったのが、体を使うことでより覚えやすくなり簡単に位置を把握することが出来るようになりました。

今回の実習では臨床実習というよりも座学の傾向が強かったのですが、ただぼーっと話を聞くのではなく頭を柔らかくして考えたり、時には体を使って覚えさせるなどいつもと違う体験をして、濃い時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。